

## 講座受講生のビフォーアフター（第4回）

東京農業大学国際食料情報学部国際農業開発学科

栩内 里菜（とちない りな）さん

平成26年度「未来の青森県を担う若人育成講座」受講生

### 若人育成講座を受講して 人との関わり、つながりを学ぶ



（栩内 里菜さん）

Q なぜこの講座を受講しようと考えましたか？

母校の三本木農業高校の先生から「地域活動をやってみないか。他校の生徒も参加するので刺激を受けてスキルアップできるよ」と勧められたのがきっかけでした。

Q 印象に残っている講座を教えてください。

平成26年10月13日（月・祝）に、十和田市のコミュニティカフェ『ハピたの』で、「十和田を知ろう！」をテーマに、他校の生徒達と協力しながら、私たちが講座の中で企画した実践活動を行った第5講座が印象に残っています。

Q その時の実践活動の内容を教えてください。

活動内容は①映像による十和田市紹介②ハロウィン仮装模擬体験で記念写真をプレゼント③親子でアロマキャンドル製作体験④牛乳パックの底で作ったコマ遊び⑤自由お絵かきコーナーの設置などです。

Q 第5講座の『ハピたの』の様子を教えてください。

当日は親子連れや子ども達、高齢の方々など多くの来場者で賑わいました。『ハピたの』のスタッフの方々には、活動場所の提供、また十和田市で収穫した野菜を使った限定ランチメニューを提供していただきました。私たち受講生のみならず、地域の大人の支えなくして実践活動は成立しませんでした。この講座に参加して、地域の方々とのつながりを持てたこと、地域貢献ができたことに対して、とてもやりがいがあったと感じています。

Q 本講座で得たことを教えてください。

2つあります。

1つめは、人との関わり方についてです。第1～3講座では年齢の近い中学生・高校生同士の関わり方、グループ運営の仕方



牛乳パックの底で作ったコマ遊び

を学び、実際に「ハピたの」カフェで実践活動を行うときには、小さなお子さんをはじめ高齢の方や、お母さんたちなど幅広い世代の方と目線を合わせ、年齢に応じた話し方ができたことです。

2つめは、人とのつながりです。講座に参加する前は自分の高校の仲間としか接する機会がありませんでしたが、講座に参加したことで他の高校の受講生とも仲良くなり、時々連絡するようになり、たくさんの人との交流が現在も続いています。



親子でアロマキャンドル製作体験

他にも、物事を進める上で、事前にやりたいことを具体的にまとめ、計画し、早めに行動することの大切さも学びました。これは私の人生においてとても大きな収穫だったと思います。

Q 講座での学びを、現在の大学生活で生かしている（実践している）ことはありますか？

人とのコミュニケーションの取り方を生かしています。講座受講をきっかけに、積極的に他者へ働きかけるようになりました。これはすべての講座を通して、たくさんの人と交流できたことが大きな理由だったと思います。今後は、大学で学んでいることを生かし、青年海外協力隊隊員として途上国支援を経験し、農業高校の教員として働きたいと考えています。

若人育成講座…中学生、高校生が地域の課題を見つけ、自らの思いを社会の中で実現させる行動力を身につけることを目的とした講座です。（全7回）講義・演習、仲間との地域活動体験等、地域での活動を通して、コミュニケーション力や実践力をつけることができます。

平成26年度は53人の受講生が参加しました。